

刊夕日一十三月七

常新日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 五圓以上 二日以下 一行五元 三日以上 一行十元
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常新日新聞社 電話 六三〇
印刷所 常新日新聞社 電話 六三〇

白土會の

謠曲を聞く (二)

H M 生

『杜若』ワキは初心者と思へぬ謠振りである。老練家もたじ／＼の感があつた折角勉強されたなれば大成されることと思ふ。精進を祈る。シテよく杜若の曲をのみこみ呼かけ以下いさもつかせぬ出来であつた。申分なし。

唯一言シテに苦言を申上たい。發聲法に今少しの研究を積れたなれば一段とよい謠となれるであらうに、もう一つ上羽の廻し節を下で謠はれたがあれは下げない方がよいのではないか。『鬼界島』ワキツレ共に上出来。シテは聲量の多いきれいな聲の人である。あの俊寛の気分はと懸念してゐたがよく揃つて謠はれた感心々々。一言申上たい。

ノール

便衣隊とは軍人制服以外の服装で軍部と連絡を取り敵地に潜入して活躍するもの

クドキがねばつたこと、ワキとの掛合に一段とカ、ツテ謠つて悠しかった。『國柄』氣持よく拜聴し

た。シテの語りもよく氣分をのみこまれて謠はれた上出来

『隅田川』先生方を使つてシテを三井氏勤められた位、調子、節と三拍子揃つて立派なものだつた。決して聞おとりする様な事はなかつた、あの太曲、あの難

明日の献立

【朝】味噌汁 豆腐 小付 生玉子
【晝】煎り卵の花 むきみ酢 どり
【晚】みぞれ湯 小饅頭 スタップド トマトサラダ

曲を、よく心ゆくまで謠はれたことは感心、白土先生も満足せられたことと思ふあの熱あゝの意氣、白土會での第一人者、益々精進せられん事を。
『仕舞』が三つあつた、三つとも上出来であつたことに三井數子嬢が十才になるかならずの齡にて覺えも覺えたり大人も及ばぬ舞振りに感心させられた、それに質素な服装にて一段と神聖なる感じがあつた。やゝもすると人心浮薄に流れ、麗美を喜ぶ世に、あの質素な姿にて舞臺の上に立ち一手一足規律正しく舞ふ姿は言ふに言はれぬ奥ゆかしさ

があるものだ、茶の湯、琴踊もよいが仕舞の方がよい様に思ふ。



月見草

『葵上』は時間の都合上連吟となつたのには失望した、これについても時間の厳守を望みたい。
清元 元治
されども哀れた一人こゝに傷みし友のあり思ひ破れてさびしくて一人さ迷ふ男あり
丘のかけ
吉川 東洋
いだきつ、
草に うちかけ
たからなる
むれの おとさく
戀心
あけたる のちの
丘かけの
吾と きみなり
とり なかす
ひと通はず
丘かけは
静か なりけり
もだしつゝ
ありて 久しも
あぢさゐの
色も かはりぬ

耳咽喉鼻科専門

平田町 (電話六九二番)

病室完備 自炊便有
山内醫院
醫學士 山内亨吉

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町九六

喜多流 謠曲 白土會

詳細は本會へ御問合せ下さい 電一二七番

蓄音器のレコード交換所!!!

並に新古レコード販賣所開設!!!

皆さん今迄御持ちの聞きあきたレコードを取り換へてあげます
高價な壹枚のレコードの價で幾枚も御樂しみが出来ます

交換料は別に定めませんが壹枚最高五十錢最低十錢位です
レコード用針は特に大勉強致します

平驟前貨物ホーム入口
電球と器具 正金商會出張所

出張所 電話(呼出)三〇三番
本店 七丁目電話三九〇番

味自慢

大衆向...氣分本位の店

サケの酒 喜多八

平町丸新デパート

是非一度御來店を!

提灯

新佛の戒名入 大勉強
岐阜提灯各種

角形一對 二、五〇〇 二〇、〇〇マテ
瓜形一對 一、八〇〇 六、〇〇マテ

尙御好みにより値も品も色々に調製致します
御電話下されば早速見本持參御伺ひ致します

スガノヤ提灯店
平四、電九五番

全能式電氣治療法

ラヂウム放射線治療

紫線治療

本療法は異なる八種の電流を使用し心身共にいふべからざる爽快を覺ゆる裡に最高の治病及増健的効果を遺憾なく發揮させる事が出来るのであります
適應症
頭痛、神経痛及癱瘓、リウマチス、神經衰弱、センソク、レイキ、胃腸病一切、皮膚病一切、關節炎、淋病、蓄膿症、動脈硬化症、ウチミ、クジキ、白、黒ソコヒ、月經痛、腰痛、中風、痔疾一切、其他

伊坂電療院
平町六町五

謹告

小生儀昭和七年全日本國民同盟の組織せらるるや推されて同會長の任に就き續いて黨議に基き同會機關紙全日本國民同盟新聞發刊の計企あり翌春創刊の運びに至り同志等により廣告の募集等致し居り候處突然余の滿州行となり二三ヶ月にして歸郷致す可きの處滿鮮臺及北九州等巡歴し思わす延引致し候此間黨員として同志等の行爲に對し聊か余の意に添はぬ点有之今般同會長の任を辭し候從つて同新聞關係を茲に清算致し度く就ては余の責任として一切の結果告げ度く候へ共廣告申込の會計狀態等不明の点多く整理上困却致し居り候間此際當時廣告御申込候方々は至急左記へ御一報賜り度く延引ながら御返金申上候追て各位に對し御迷惑相掛り候段深く陳謝致し候と共に此段謹告仕り候

平町一ノ一 鈴木サキ方

伊東一

鑛産税を巡つて

町村が睨み合ふ

所在地側の分割反対決議に 平町其他が結束對抗の模様

炭礦所在地町村殊に石城郡下の炭礦地から年久しきに亘つて要望されてゐた鑛産税半額譲渡は遂に昭和七年度より實施され財源難に疲弊の極に喘いでゐた郡下各關係町村に對して相當の

財源となり多大の救濟を與へたが

この影響甚大なるにも拘らず全然譲渡の恩澤に浴せざるなるので前記各町村との對抗上近く平町、飯野、鹿島川部等の鑛區のみを有する町村が聯合して分割反對の阻止の

猛運動を起す模様あり

この兩者對立の成行きは各方面から注目の的となつてゐる

花王石鹼の別動隊

平館に講演と映畫

美容と毛髮の衛生其他

来る二日入場無料

花王石鹼本館の別動隊である東京家事科學研究會が来る二日午後一時から平館に美容と毛髮の衛生及び洗濯の仕方に就いての講演と映畫の會を開く、講師は同會常務理事水田利夫及び和洋女子専門學校教授山崎敏一

平町會開く

豫算更正其他

平町では來月二日午後一時

激勵の聲に送られ

各選手大會へ出發

各種競技の中等學校大會が今日日中に福島、相馬、白河、仙臺等に開催されるので磐女のバレー選手が昨日午後一時五十分平驛發列車で中村町に向つたのを最初に今朝午前五時四十二分平驛發越線一番列車に

赤十字保養所

四倉小學校に設置される日本赤十字社福島支部の夏季兒童保養所は去月廿三日第一回希望者を募集したが希望者が少いので延期中の處今回更に第二回募集を行つて兒童六十名を來月十一日より廿四日迄四倉校に收容する事になつたが期間中兒童一人の食費は五圓である

第二臨海延期

平第二小學校では既記の如く八月一日及び二日の兩日豊間村薄磯海岸に於いて兒童

實業教育委員

好間第一實業公學校校教諭中村

から町會を招集左記諸案を附議する

- 一、九年度豫算追加更正
- 一、寄附採納の件
- 一、小學校職員退職慰勞金贈呈
- 一、八年度匡救事業收支決算報告
- 一、水道部原動機買却

鮫川水利競賣

鮫川水利組合では來月十日午前十時から平町團體事務所にて於て滞納整理のため公賣を執行するが滞納人員三十六名額は七十六圓であると

磐女排球組合

既報磐女排球部の一行は本日午前八時より相馬高女コーに開催される縣下女學校排球大會に出場したが試合の組合せはA組が安積、福島Bは相馬、須賀川、C組が女子師範とそれ／＼對戦する

職員慰勞會

平第一小學校では本日授業を午前中で打ち切り午後一時から理科室で職員慰勞會を開いたが第二校では既報の如く本日自動車にて新舞子海岸で同く慰勞會を開いた

土用稽古終る

平署では三十一日午後二時から同署演武場で土用稽古納會を行ひ終つて茶話會を催した

平町人事

- 回出生 渡邊富治氏
- 回出生 長男繁さん
- 回結婚 留次氏二男小幡貞氏(二七) 埼玉縣北埼玉郡持田大字持田六五二〇 渥美タカ(二三)

平職界の報告

- 回人を求める方
- △女中 十五—二十才
- 無學でも可 給料面談
- △持持 十五—二十才

本日仙臺市の東北中等野球隊豫選に出場の爲め出仙せる平商チームは仙臺縣工と、福師は一中と對戦組合せが決した

- 給料面談
- △保險外交員 五十才—三十才まで高卒 個定給
- 二十圓他歩合給 要保證
- △配達夫 二十二才 高卒
- △新聞配達夫 若干名要
- 高等科在學中 朝夕判何れも可(以上給料面談)
- △菓子職 二十七才 高卒
- △小店員 二十才 高卒
- △土工夫 三十二才 尋四修

開業

- 一、齒科 一般
- 保存科補綴科 繼續架工科
- 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
- 一、口腔 外科
- 一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次
日本齒科醫學士 西川 誠
平町田町(松月堂向と) 電話五〇九番

天地に満ちる

青葉のオウ歌

初夏は行け!

野に! 山に! 海邊に!

34年型デラクスセダンで

三井タクシ

電話六八五番

四丁目既に 兩側舗装

工事益々進捗

雨が幾分邪魔する

平町のメイン・ストリート
の面目を一新する一丁目、
五丁目間の国道舗装工事は
去る八日着工以來不順な天
候に厄ひされながらも其後
意想外の進捗ぶりを見せ、
既に四丁目の兩側全部及び
三丁目の一部のコン
クリート舗装を終りビチュ
マルス乳劑の塗附を行へば

舊盆前後は 舗装を休む

各商店から苦情

平町の舗装工事は別項の如
く着々進捗してゐるが例年
平町を歡樂と雜沓の巷と化
さしむる恒例の舊盆が

この舊盆の前後は歳末年始
とともに實に「商業・平の
生命線」であり各商店殊に
呉服洋品店等にとつては大
事な書入時であるが

今年には前記の如く縣
營の國道が施工され本町通
りは殆んど交通杜絶の状態
で到底これでは營業が出来
ぬと各商店から苦情が出て
舊盆中工事休止を叫ばれる

△一等(五圓)才館小路警
中生相雄△二等(二
圓)鎌田町警中生鈴木雄
次郎 △三等(國旗一式)
二丁目川部要田町小松俊
雄 城山石澤政一 鐵道
官舎友部ノブ子 久保町
今井常雄外十五名

平町各小學校 愈々夏休

平町の各小學校及び私立學
校等では本日をもって本年
度の第一學期を終り明日か
ら一齊に夏休に入るの以て本
日は各學校共終業式を擧げ
明日から一ヶ月に亘つて朝
の登校を急ぐ生徒兒童の姿
は見られぬ事となる

先生方招待

第二校同窓會

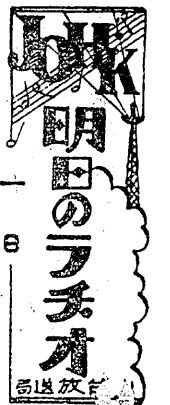
平第二小學校同窓會では來
月廿五日午後一時より同校
講堂で總集會を開き過般退
職せる橋本キシ先生及び轉
任となつた佐藤信義、小松
政一、大須賀百世、根本ツ
ナの各先生を招待して茶話
會を開くが當日は餘興とし

井戸に浮む 老婆の死體

水汲女が仰天

佛壇に氣味悪い遺書

二十九日午前四時頃江名町
字南町八二金成タカさんが
自宅裏の井戸に水汲みに行
くと年齢六十才前後の老婆



天 今晩も明日も北
東の風曇り勝小
雨模様

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
漫畫劇「吾輩は犬である」
第三回漫畫劇場
後六、二五 講演「山の成
因」東京帝大教授 加藤武夫
後七、三〇 落語「源平盛
衰記」 納涼演藝大會 林家正藏
後七、五〇 落語「源平盛
衰記」 三遊亭圓遊
後八、一〇 落語「たたらち
ね」 柳家三語樓

明日の部
後八、三五 音曲「吹き寄
せ」 三遊亭圓若
後八、五〇 落語「青葉」
桂福田治
後九、一〇 萬才「夏期家
庭講座」 都家静代
後九、三〇 時報「ニュース
氣象通報」 番組豫告
前五、五〇 ラヂオ体操の
市內 私田縣知事 及秋田
小學校兒童

後六、〇〇 ラヂオ体操
「全國ラヂオ体操」開
會文部大臣 松田 源治
前六、三〇 夏期英語講座
(一) チャールズスパーカー
前七、二〇 聖典講義「湯
明學講話」(一) 松山 學
舎長
前七、四〇 夏期兒童補習
講座(六年生のおさひ
の時間) 仙臺市視學
前八、〇〇 家庭講座「家
庭日用品のお話」(一)
前八、一〇 料理「初
羊羹」 皆川 初
前九、〇〇 運動競技實
況 全國中等學校優勝野
球大會 東北豫選仙臺市
濱橋球場より中繼

前一〇、三五 婦人講座
「避暑地の女性を話題に」
竹田 菊子
後〇、〇五 音曲「植木
怪談」 柳家技太郎
後六、〇〇 子供の時間
電話「お爺さんと桃」
莊司 義孝
後六、二五 講演「紫外線
と赤外線」理化學研究所
理學博士 櫻井 秀雄
後七、三〇 趣味の話「藝
談十二選」(一) 話術か
ら見た講談「伊藤 痴遊
後八、〇〇 長唄「養老」
吉住小四郎外大勢
後八、二五 ラヂオドラマ
友田恭助外大勢
後九、〇〇 人情噺「牡丹
燈籠」 一三遊亭圓馬

鑄物中に 感電即死

平町月見町二一鐵工場佐藤
源吉方見習職工豊間村薄磯
字南町重助三男志賀勇(一)
は三十日午後八時頃工場内
で鑄物型作製に従事中百ボ
ルトの電流に感電即死した

生れた月日まで ゴマ化して居た

伊關の悪店員公判

十時より窃盜並に横領犯と
して平區公判に附され清田
検事より一年六ヶ月を求刑
され即決により中島監督判
事より求刑通り言渡があつ

自殺の惶れ 女房が家出

岩瀬郡須賀川町字菊河彌三
新平妻園谷みち(三)は家庭
の不和から三才の幼兒を捨
て、家出したが石城地方に
行つたらしく自殺の恐れあ

裁判所たより

△昨報平區才判所に昨日押
送された窃盜前科十五犯の
新瀨縣佐渡郡相川町二丁目
生れ住所不定無職青木竹四
郎(三)の公判は本日直に中
島監督判事係り清田検事立
會のもとに本日午前九時よ
り平區才判所法廷に於いて
開廷検事より二年六ヶ月の
求刑があり即決才判により
求刑通り言渡された

家出男を搜索

岩手
縣岩中郡預田村字沖田八重
次長男藤森吉郎(九)は八年
前家庭の不和から家出した
まゝ音信不通となつてゐた
が去る十五日實父八重次が
死亡し嗣子が居ないため種
々不都合が多いので實家で
は各方面を問合せた處内郷
村高坂に現住する義兄吉田
茂方に寄食してゐるらしい
からとけい實母から平署に
搜索方を願出た

浮名新立頭

(續前上段及上段)

田邊南龍(作)
山本英春(繪)

九七

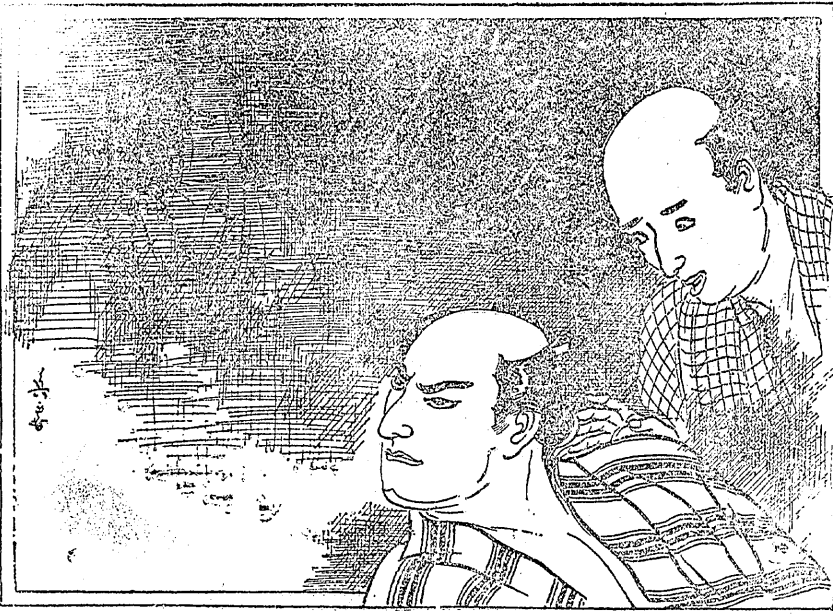
夢枕に立つ櫻川
「イヤ、雨敲きになつて相果てるのも嫌だ、無理な願ひを掛けたによつて神様の取給ふ命鬼に角家まで行かすばなるまい」

と刀を杖に三間歩いては休み、一開歩いては休み漸くのことと戦つて来て玄關正面から上つて密と阿母に知れないやうに、己の居間へ這入りやうくにして何分亡き跡で阿母の身の上をお頼み申すといふ書遣き、を長兵衛の名當にして認めその書遣きを机の上に乗せて、下へ赤き毛氈を敷き、櫻川五郎藏は腹一文字に搔ツ切り、二十五歳を一期として相果てました、さてお話は二ツに變つて長兵衛の方でございませう、氣に入りの雷十五郎といふものを相手にしたして酒を飲んで居ります。

「十五郎誰か歸つて来たか……」
「誰も歸りません雨が降つたから大方吉原へでも行つたんでございませう」
「合羽だの傘だのを持つて迎ひに行つたものは何うした」
「彼奴も淺田へ行ってを限り末だ歸りません」

「皆んな遊びに行つても、櫻川は歸つて来さうなものだが、何うしたんだらう」
「サアサアツと雨は降つて世相は深々寂莫たる有様兄弟同様にしてゐた櫻川がさういふ死にやうをする晩だによつて、何となく心持

る、長兵衛ゴロツと横になつて了つたのを叩きながら「ア、詰らねえ、皆をな女郎買に行つたのに已ばかり獨りが残つて馬鹿々々しい……」
と叩いて居る内に、長兵衛はスヤ／＼寝付いた様だから酒を飲まうとすると「十五郎何故休むんだ、寝付くまで叩け」
「ヘエ」
又ドコ／＼やつて居る内にスヤ／＼寝付いてグシヤ／＼寝言をいひ出しました「元締々々、氣が利かねえ



が穩かでない。
「十五郎少し横になるから腰を叩いて呉れ乃公が寝らまつたら酒を飲むとも寝るとも勝手にしろ」
「ヘイ畏まりました」
と枕と小搔卷を持つて

なア寝言をいつて」
長兵衛はスヤ／＼寝付くと「元締々々々、櫻川五郎藏でございませう、永々御厚情有難うございませう、何にも心残りはございませが、唯

一人の母で何卒彼阿母は貴公の家へ引取つて飼殺しにして下さるやう、それをお頼み申しに参りましてございませう」
「關取、何をいふのだ」
と目を見開いてよく見れば、散バラ髪濡れしよぼになつて、しかも血だらけになつて居る様子、長兵衛驚いて櫻川の手を取つて障子を開けて引入れる
「元締々々何うしたんです……」
「ア、ア、何うかしたか」
「先刻つから寝言をいつて居る夫ばかりぢやアねえ障子を開けたから俺ちや怖くなつて来た」
「ウム、障子を開けたかな……」
「エ、開けました、風の神でも引つ張り込んだんでせう」
「然うぢやアねえ……シテ見ると今のは夢か」
「何でぞ」
「ハテ氣になる夢を見たなア」
「開けて呉れ」
ドン／＼／＼
「誰だ」

お醬油は……ヤマフル

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町電話營業部二〇醸造工場
明治生命鑿城代理店 山崎與三郎

店主	が	店員
を	連れ	て行
か	れる	
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒場	喫茶	食堂

平・田町
レストサロン
電話二五三番

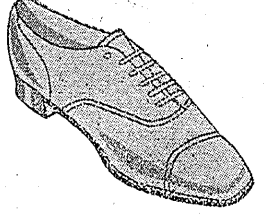
耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
平町田町
電話五八番

34年型新車購入

初夏!
快ろよい微風が頬をかすめて吹く……野邊に、海邊にアナタのリーベとの遠乗りに散策に御私用に一是非御愛乗下さい。セリザワのニュー・カーを!
平・三 芹澤タクシー 電 395

体温計の検査日です

10日 検新
機設
お宅の体温計は?
◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販賣人 西村屋藥局
計量器 電話三番



夏!!!
道歩く紳士の足もと
は白靴にかゝやく!
A 先づ何よりも白靴
足も軽けりや心も躍るよ
B 成程夢をなかつて黒靴では
ちよつと……へんだね
斷然安い菊地の白靴一九三四年型に
すると云つてやつたがね……
四丁目驛通り
既製菊地靴カバン店
電話六五九番

